

資料4-1 有害大気汚染物質のモニタリング結果（年平均値）（平成28年度）

（単位： $\mu\text{g}/\text{m}^3$ ）（重金属及びベンゾ[a]ピレン： ng/m^3 ）

物質名	(北区) 菅北小学校	(平野区) 摂陽中学校	(大正区) 平尾小学校	(西淀川区) 出来島小学校	市内平均	環境基準 【指針値】
ベンゼン	0.55	0.57	—	0.76	0.63	$3\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下
トリクロロエチレン	0.24	1.5	—	—	0.87	$200\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下
テトラクロロエチレン	0.12	0.22	—	—	0.17	$200\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下
ジクロロメタン	1.3	3.8	2.2	—	2.4	$150\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下
アクリロニトリル	0.19	0.12	—	—	0.16	【 $2\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下】
塩化ビニルモノマー	0.024	0.022	—	—	0.023	【 $10\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下】
水銀及びその化合物	2.1	1.6	—	—	1.9	【 $40\text{ngHg}/\text{m}^3$ 以下】
ニッケル化合物	1.7	2.4	2.7	3.4	2.6	【 $25\text{ngNi}/\text{m}^3$ 以下】
クロロホルム	0.16	0.13	—	—	0.15	【 $18\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下】
1,2-ジクロロエタン	0.086	0.10	—	—	0.093	【 $1.6\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下】
1,3-ブタジエン	0.052	0.054	—	0.095	0.067	【 $2.5\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下】
ヒ素及びその化合物	0.97	1.3	—	—	1.1	【 $6\text{ngAs}/\text{m}^3$ 以下】
マンガン及びその化合物	7.2	9.4	—	—	8.3	【 $140\text{ngMn}/\text{m}^3$ 以下】
ホルムアルデヒド	4.2	3.9	—	4.6	4.2	—
アセトアルデヒド	2.7	2.9	—	8.2	4.6	—
酸化エチレン	0.14	0.21	—	—	0.18	—
ベンゾ[a]ピレン	0.076	0.081	—	0.087	0.081	—
クロム及びその化合物	1.3	1.8	—	—	1.6	—
ベリリウム及びその化合物	0.0039	0.0059	—	—	0.0049	—
トルエン	8.0	11	—	9.1	9.4	—
塩化メチル	1.1	1.1	—	—	1.1	—
キシレン	1.2	1.9	—	—	1.6	—

(注) : 環境基準値が設定されている項目

: 指針値が設定されている項目

— : 分析を実施していないことを示す。

資料4-2 ダイオキシン類環境調査結果（平成28年度）

1. ダイオキシン類環境調査結果の概要

項目	調査地点数	最大値	最小値	平均値	単位	環境基準	環境基準達成状況
大気	7	0.054	0.017	0.028	pg-TEQ/m ³	0.6pg-TEQ/m ³ 以下 (年間平均値)	7/7
水質	河川	21	1.2	0.079	pg-TEQ/L	1pg-TEQ/L以下 (年間平均値)	20/21
	海域	2	0.067	0.031			2/2
地下水質	1	0.14	0.14	0.14			1/1
底質	河川	21	490	0.71	pg-TEQ/g	150pg-TEQ/g以下	19/21
	海域	2	15	14			2/2
土壌	2	3.2	1.6	2.4		1,000pg-TEQ/g以下	2/2

2. 大気調査結果

(単位：pg-TEQ/m³)

調査地点	平成28年度 年平均値	測定結果の 最小値～最大値	年間測定 回数	(参考) 平成27年度 年平均値
菅北小学校（北区）	0.017	0.016 ～ 0.018	2	0.023
平尾小学校（大正区）	0.054	0.022 ～ 0.086	2	0.029
淀中学校（西淀川区）	0.022	0.018 ～ 0.025	2	0.037
茨田北小学校（鶴見区）	0.030	0.019 ～ 0.040	2	0.021
摂陽中学校（平野区）	0.023	0.022 ～ 0.023	2	0.030
住吉区役所（住吉区）	0.026	0.024 ～ 0.027	2	0.028
勝山中学校（生野区）	0.022	0.021 ～ 0.023	2	0.023

(注) 1. 環境基準：年間平均値で0.6pg-TEQ/m³以下

2. 試料採取日：夏季：平成28年8月18日～25日

冬季：平成29年1月12日～19日

3. 水質・底質調査結果（河川・海域）

(単位：pg-TEQ/L（水質）、pg-TEQ/g（底質）)

調査地点		水質	底質	調査地点		水質	底質	
河川	桜宮橋（大川）	0.27	19	河川	南弁天橋（平野川）	0.22	24	
	天神橋〔右〕（堂島川）	0.42	41		本町橋（東横堀川）	0.54	6.0	
	天神橋〔左〕（土佐堀川）	0.38	2.3		下城見橋（第二寝屋川）	0.33	14	
	大黒橋（道頓堀川）	0.72	26		今津橋（寝屋川）	1.2	6.0	
	北港大橋下流700m（正蓮寺川）	0.13	53		京橋（寝屋川）	0.45	0.71	
	春日出橋（六軒家川）	0.21	48		小松橋〔江口橋〕*（神崎川）	0.34	7.6	
	天保山渡（安治川）	0.079	170		千船橋（神崎川）	0.17	490	
	甚兵衛渡（尻無川）	0.18	67		海域	大阪港関門外	0.031	15
	千本松渡（木津川）	0.093	74			南港	-	-
	船町渡（木津川運河）	0.21	150			神崎川河口中央	-	-
	城見橋（平野川）	0.19	100			淀川河口中央	-	-
	天王田大橋（平野川分水路）	0.14	10			木津川河口中央	-	-
	徳栄橋〔中茶屋橋〕*（古川）	0.61	46			No.5 ブイ跡	0.067	12
住之江大橋下流1100m（住吉川）	0.10	56						

(注) 1. 環境基準・・・水質：年間平均値で1pg-TEQ/L以下、底質：150pg-TEQ/g以下

2. 試料採取日・・・水質：年1～4回実施 平成28年4月25日～12月16日

底質：年1回実施 平成28年5月23日～25日

3. *は【 】内に示した地点で底質の採取を行った。

4. 海域調査地点（6地点）は3年に1度の頻度で調査を実施している。

4. 地下水質調査結果（単位：pg-TEQ/L）

調査地点	調査結果
生野区巽中	0.14

(注) 1. 試料採取日：平成28年12月15日

2. 環境基準：1pg-TEQ/L以下（年間平均値）

5. 土壌調査結果

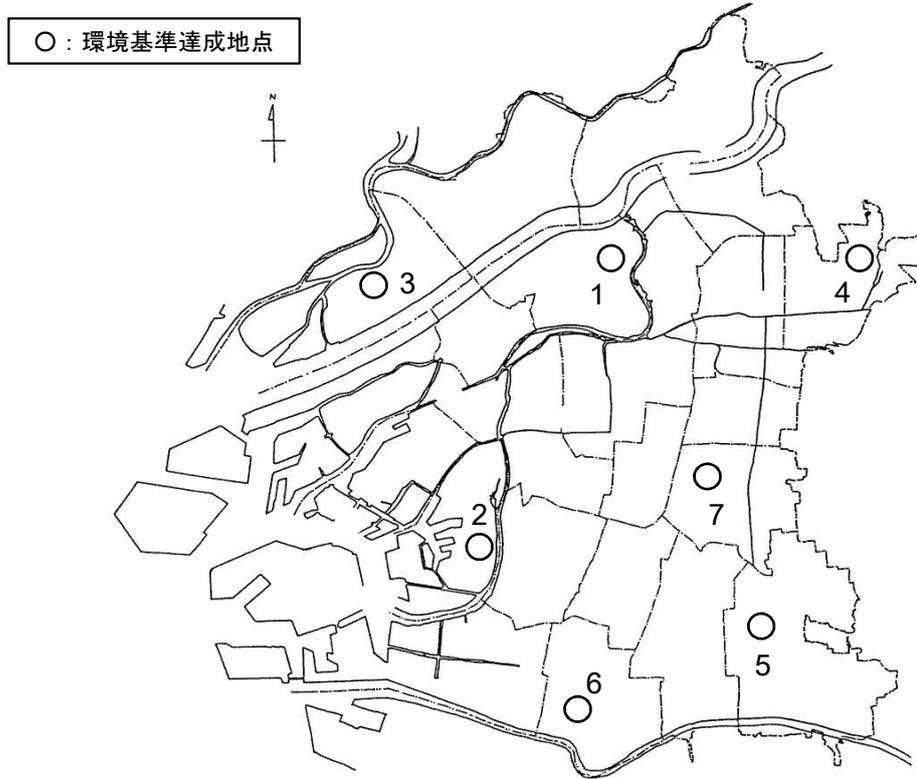
(単位：pg-TEQ/g)

調査地点	調査結果
大國小学校（浪速区）	1.6
善源寺楠公園（都島区）	3.2

(注) 1. 試料採取日：平成28年8月3日

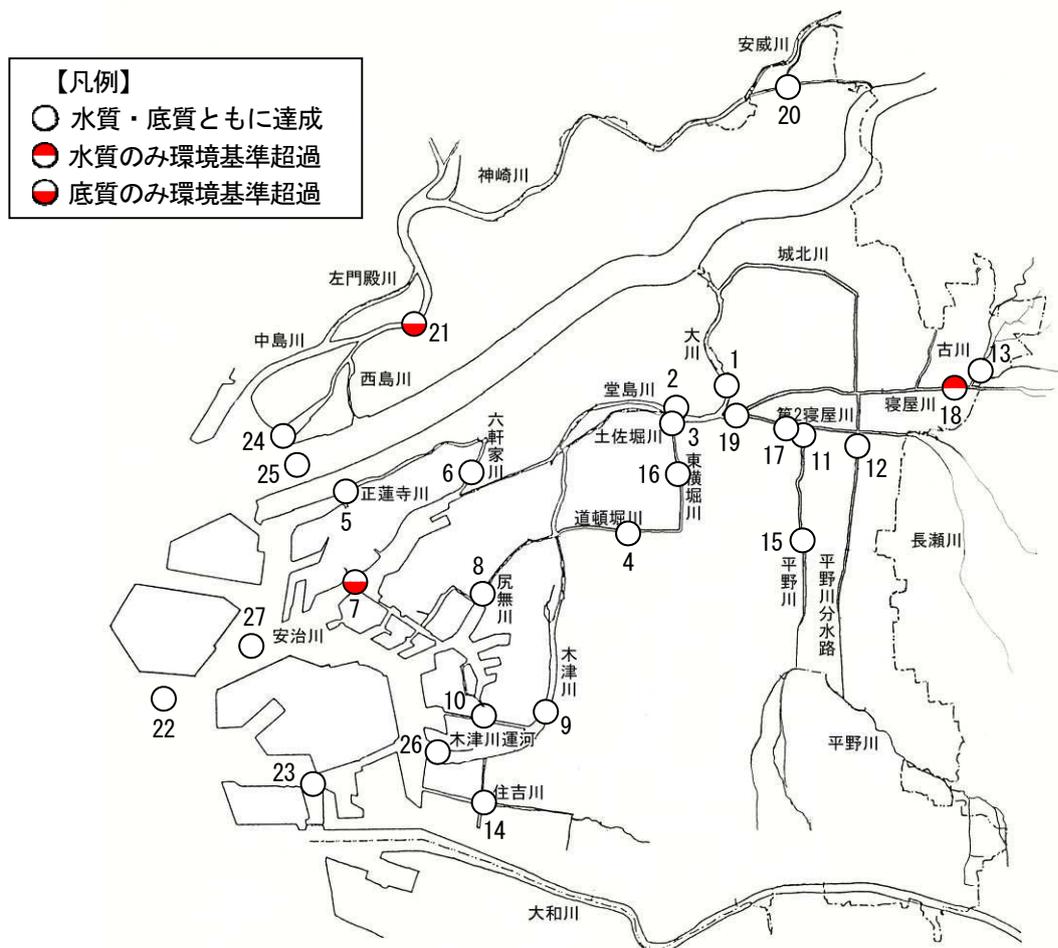
2. 環境基準：1,000pg-TEQ/g以下
(調査指標値：250pg-TEQ/g以上)

資料4-3 ダイオキシン類（大気）環境基準達成状況図（平成28年度）



No.	地点名	No.	地点名
1	菅北小学校（北区）	5	摂陽中学校（平野区）
2	平尾小学校（大正区）	6	住吉区役所（住吉区）
3	淀中学校（西淀川区）	7	勝山中学校（生野区）
4	茨田北小学校（鶴見区）		

資料4-4 ダイオキシン類（水質・底質）環境基準達成状況図（平成28年度）



No.	調査地点	河川名等	No.	調査地点	河川名等
1	桜宮橋	大川	15	南弁天橋	平野川
2	天神橋〔右〕	堂島川	16	本町橋	東横堀川
3	天神橋〔左〕	土佐堀川	17	下城見橋	第二寝屋川
4	大黒橋	道頓堀川	18	今津橋	寝屋川
5	北港大橋下流700m	正蓮寺川	19	京橋	寝屋川
6	春日出橋	六軒家川	20	小松橋〔江口橋〕*	神崎川
7	天保山渡	安治川	21	千船橋	神崎川
8	甚兵衛渡	尻無川	22	大阪港関門外	海域
9	千本松渡	木津川	23	南港	海域
10	船町渡	木津川運河	24	神崎川河口中央	海域
11	城見橋	平野川	25	淀川河口中央	海域
12	天王田大橋	平野川分水路	26	木津川河口中央	海域
13	徳栄橋【中茶屋橋】*	古川	27	No.5ブイ跡	海域
14	住之江大橋下流1100m	住吉川			

(注) 1. *印は、底質を【 】内の地点で採泥したことを示す。

2. 海域調査地点（6地点）は、3年に1度の頻度で調査を実施している。

なお、「南港」「神崎川河口中央」「淀川河口中央」「木津川河口中央」の達成状況は、直近（平成26、27年度）の調査結果により記載した。

資料4-5 ダイオキシン類対策特別措置法に基づく届出件数

(平成28年度)

種 類 区 分	設置届	使用届	構造 変更届	廃止届	氏名 変更届	承継届	合計
大気基準適用施設	0	0	1	2	3	0	6
水質基準対象施設	0	0	1	1	6	0	8

資料4-6 特定施設における排出ガス中のダイオキシン類濃度

(1) 排出ガス

(平成28年度)

特定施設の種類の種類		排出基準 ng-TEQ/m ³ N		報告 施設数	測定結果 ng-TEQ/m ³ N
製鋼用電気炉		既設	5	7	0.000088~0.27
廃棄物焼却炉	4 t/h以上	既設	1	8	0.00000018~0.033
		新設	0.1	10	0.00000021~0.00058
	2 t/h以上 4 t/h未満	既設	5	6	0.0000049~0.38
		新設	1	1	0.00000024
	2 t/h未満	既設	10	8	0.029~3.1
		新設	5	2	0.0000079~2.4

(2) 排水

(平成28年度)

特定施設の種類の種類	排出基準 pg-TEQ/L	報告 事業場数	測定結果 pg-TEQ/L
廃棄物焼却炉 〔廃ガス洗浄施設〕	10	1	0.17
下水道終末処理施設	10	4	0.00049~0.0015

資料４－７ P R T R法及び府条例に基づく排出量等の届出件数

(平成28年度)

届出件数			
PRTR法	府条例（排出量等）	府条例（管理計画書）	府条例（管理目標）
503	382	37	177

資料４－８ P R T R法及び府条例に基づく届出排出量・移動量・取扱量

(平成27年度)

排出量				移動量		取扱量
大気	公共用水域	土壌	埋立	下水道	廃棄物	
1,420 (1,364)	332 (1)	0	0	155 (148)	4,633 (2,351)	500,283 (346,873)
1,752 (1,366)				4,788 (2,499)		

※（ ）内は揮発性有機化合物

(単位：トン)

資料４－９ ダイオキシン類の排出量（推計）

施設種類		平成9年度	平成27年度
ダイオキシン類対策 特別措置法特定施設	廃棄物焼却炉	26	0.58
	製鋼用電気炉	9.8	2.5
	鉄鋼業焼結炉	0.86	0
	アルミニウム合金製造施設	0.0042	0
その他のばい煙発生施設（ボイラー等）		0.39	0.41
合計		37	3.5

(単位：g-TEQ/年)